



2024年4月26日

各位

会社名 エムケー精工株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 将一
(コード番号 5906 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 酒向 邦明
(TEL 026-272-0601)

減損損失の計上及び2024年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期（2023年3月21日～2024年3月20日）におきまして、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2023年10月27日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失の計上について

当社のライフ&サポート事業において、原材料・エネルギー価格の高騰、引き続き為替相場の円安基調、販売数量減少に伴う工場稼働率の低下等により収益性が低下し、減損の兆候が認められました。そのため、これらの事業を営む当社事業所（長野県千曲市及び長野県埴科郡坂城町）の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2024年3月期連結決算及び個別決算において831,415千円の減損損失を計上いたしました。

2. 通期連結業績予想値と実績値との差異

(1) 2024年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2023年3月21日～2024年3月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,000	1,500	1,500	800	54.59
今回実績値 (B)	28,474	2,127	2,253	713	48.67
増減額 (B-A)	474	627	753	△86	
増減率 (%)	1.7	41.8	50.2	△10.8	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	27,327	1,694	1,816	1,167	79.91

(2) 差異の理由

主力の門型洗車機は、SS（サービスステーション）向けでは、政府助成事業による補助金効果によって設備投資が活発となり、カーディーラー向けでは、整備の省力化に伴う需要を取り込み、工場は一年を通して高稼働を続け、売上高、営業利益、経常利益が大きく伸長し、前回発表予想値を上回りました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記1に記載のとおり、固定資産の減損損失を特別損失に計上したため、前回発表予想値を下回りました。

以 上